

北っ子 敷島北小学校だより

令和5年6月9日 文責 学校長 増坪広夫

修学旅行に行ってきました

「疲れた〜」「おもしろかった〜」どんな声とともに6年生の皆さんは自宅へ帰ったのでしょうか。そして帰りのバスで「ずっと修学旅行だといいなあ」といっていたのは誰だったのでしょうか。きっと多くの子が同じ気持ちだったのだと思います。



今回の修学旅行では「集団行動のルールを守って、友だちとの絆を深める」ことを目標としました。このことを成功させるために子供達は多くの時間を費やしてきましたが、当日を迎えるまで苦労を重ねてきただけあって、すべての日程を見事に完遂することができました。

修学旅行中、いくつかのトラブルはあったかもしれませんが、それはケガや病気といったことではなく「いつか笑い話」になるものばかりだったように思います。子供達なりに励まし合いながら班行動を行うことができたこと、協力できたことは大変素晴らしかったと思います。6年生にとってよい財産がまた一つ増えました。

集団行動で学んだこと

修学旅行は宿舎で過ごす時間も子供達にとっては大きな意味があります。「朝、早くに起きてしまった」「ちょっとしか寝ていない」などなど。それは単に枕が変わったからではなく「楽しくて、楽しくて仕方がない」ことのあらわれでしょう。友達の良さを再発見できた子も多かったことだと思います。



バスの中での過ごし方もよかったです。コロナ禍ではできなかったカラオケ大会など、「みんなで楽しもう」という気持ちを感じられました。班行動だった見学場所でも、友だちを心配して声をかけたり、昼食でフライドポテトを口に入れてくれたり、お世話になったバスガイドさんにお土産を渡したりなどなど、6年生の優しさや思いやりをたくさん感じました。これは家庭での過ごし方も影響しているのかもしれませんが。学校到着時に、雨の中で私が荷物の出し入れをしていると、やさしくカサをかざしてくれた保護者の方もいらっしゃいました。そうしたさりげない優しさを見て子供は育つのかも知れません。

やるときはやる6年生の良いところをたくさん発見することができた修学旅行でした。

さて、この3日間で子供達はどんなことを学び体験することができたのでしょうか。修学旅行の成果はこれからの生活にきっとあらわれてくることでしょう。修学旅行の成否はそこにあるような気がしてなりません。

プールが始まりました



6月5日(月)にプール開きが行われ、児童会長と体育委員長と一緒にプールの授業が安全にできるように祈願しました。いよいよプールでの水泳の学習が始まりました。

初めて体験する1年生ですが、まずは実際に水に入る日に備えてプール学習のオリエンテーションを行いました。プールサイドに実際に行ってプール学習の一連の流れを全員で確認しました。

いわゆるイメージトレーニングに基づく確認のための時間です。

水泳学習に限らず、こうしたお膳立てとも言える時間が小学生にはとても大切になります。こうした指導は、小学校の学習が「子供をまるごと見る」と言われるゆえんでもあります。こうした細かいステップを踏ませることで、本番の肝心な時に大きな混乱はグッと減ります。

さて、水泳学習では大声を出すことや接触等をできるだけ避けながら、水に親しむ活動を中心に「安全第一」で指導をします。これまでと同様に基本的な感染症予防を講じた上での授業となります。

本校では次のようなことにも留意しつつ授業を進めます。

- ・水泳時や着替えの時間などは基本的にマスクを着用しません。
- ・シャワーは静かに浴び、キャーキャー言わない。(これがなかなか難しい…)
- ・間隔を確保しつつ、プールの泳ぎは一方通行とします。
- ・自由時間は原則設けません。(とっても残念ですが)
- ・教師は指示などで声を出すため、必要に応じてマスクを着用して指導にあたります。等。



また、夏休み中のプール開設は熱中症対策のためありません。学校でのプール体験は天気にもよりますが、多くてもせいぜい10回程度になります。

今年度からは、泳力テストをしたり、着衣泳を経験させたり、流れるプールや波をつくって楽しんだりすることができると思いますが、今後の状況を見ながら判断していきます。

運動や登下校時の熱中症への注意喚起

- ◆熱中症予防を最優先とし、必要に応じてマスク着脱の指示をすることがあります。
- ・気温上昇時に体育など運動する際は、マスクを外し近距離の会話は控えるよう指示する。
- ・身体的運動を伴う活動(特に体育)では、児童の体調を十分に確かめる。
- ・運動前、休み時間の前など、一口水を飲むよう指導する。※とても大切です
- ・登下校時気温が高い場合は積極的にマスクを外し、会話を控えるようクラスでも指導する。



これから本格的に暑くなります。運動中のマスクは、原則としては必ず指導を行っていきます。

ちょっと前なら無かったことですが、今は熱中症の危険がある場合、休み時間の外遊びも禁じることとなっています。プール学習でさえ、熱中症が危惧される場合は実施しません。「暑い日だから、プールにはもってこいだね」というのは、すでに昔の考え方になってしまったようです。